

第5回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会
(第14回基盤整備推進部会、第12回まちづくり推進部会) 主なご意見等

開催日時：平成30年11月8日（木）15:00～17:00

開催場所：大宮区役所6階 大会議室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 教授 窪田 亜矢
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 経営企画本部 課長（代理）
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部 運輸企画課 課長補佐（代理）
交通事業者	西武バス 運輸計画部 計画課 課長（代理）
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 副理事長（代理）
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部 交通政策課 主幹（代理）
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 道路協議係長（代理）
関係行政機関	大宮警察署 交通課 交通規制係長（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部 土木総務課長（代理）
関係行政機関	さいたま市 大宮区役所 暮らし応援室 副参事（代理）
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	都市再生機構 東日本都市再生本部 事業企画部 事業企画第2課担当課長

■個別の整備計画の検討状況について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 駅改良計画の方向性(案)に「大宮の交通結節点としての機能拡充に寄与する方策を検討していく」とあるが、どういった状況か。
- ⇒ 駅機能については、大宮駅が東日本の玄関口に見合うよう、鉄道側としてどういことができるのかということを検討いただいているところである。
- ・ 道路整備計画について、まずは、大門2丁目の再開発が完成した時点でどれだけ影響が出るのかという想定から入るべきではないか。
 - ・ 地下車路ネットワークについては、整備が間に合わず街区の開発が先に進んだ場合、駐車場が使えないとなってしまっはいけない。是非現実的なスケジュールを組んで実行していただきたい。
 - ・ 開発のペースと道路整備のペースがうまく合わないと一時的にせよ大変な混雑を招く可能性がある。本日お示しいただいたのは最終形であるので、道路整備の途中段階でどうなのかというチェックは必要である。時間軸の中での検討は今後も随時やっていただきたい。
 - ・ 車のネットワークの話が出ていたが、それと同じぐらい人の流れも重要である。駅機能のイメージでは、JR、東武が新東西通路のほうに改札口を設けた場合、どの程度の人がどちらに流れてくるのかというシミュレーション結果、その算出根拠及び考え方をわかりやすく提示していただきたい。
 - ・ 鉄道側が、どの位置にどのぐらいのボリュームで出てくるのかによって街区のレイアウトが変わってくる。なるべく早い時期に具体的なものをお示しいただきたい。
 - ・ 駅からまちをつなぐ人の動線を検討するということになっているが、これはあくまでも相互関係で、まちから駅をつなぐ人の動線も意識したほうがよい。

■まちづくりガイドライン素案について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 「バス利用者を増やすため」とか「見沼等のバスの利用者を生活する地域での」といった表現があるが、特定の地域に言及するのはおかしい。バスバースについては先々ITを使えばもっとコンパクトにできるのではないか。
- ⇒ 大宮駅東口の路線バスについては、見沼の方を中心に多くの方に利用いただいている状況がある。見沼の地域の利用が増えることで大宮駅を利用する方が増えるということにつながって、大宮周辺地域の発展にもつながるということ、相互の相乗効果でウインウインの関係が築けるのではないかと

うことで記載させていただいたが、固有の地域の名称については、誤解を生む表現とならないように改めたい。

- ・これからは、オープン会議等で市民の方々などからもご意見いただきながらガイドラインを進めていくと思う。ガイドラインにおけるパブリックスペースについて述べている項目と、実際に事業化する内容との齟齬がないように、点検しながら進めていっていただきたい。ガイドラインは、まちと基盤をつなげる上で重要だと思っている。

■行政改良案について

【⇒事務局からの回答】

- ・大宮の駅の魅力というのは駅を降りてきてからすぐにまちが広がっていて、いろいろな活動が生み出されているということである。人がどのように対流・回遊しているのかというところをまずは最初の重要なこととして考えていただきたい。大宮駅を現在は利用している方が、高齢化によって大宮駅周辺のまちには、自宅からバスで来訪しても電車には乗らないという場合もあるだろう。その方にとっての使い勝手の良いバスターミナル、バスバースはどこがいいのか、そういったことを広域的あるいはマネジメントも含めて考えていただきたい。
- ・我々も民地で不足している交通広場のスペースを受け入れる考えは十分あるが、お互いの採算性を考えさせてほしい。もう少しコンパクトな機能やボリュームを考えていただけないか。
- ・様々な計画をトータルで考えていただくような組織形態にしていただかないと全く進むことができない。
- ・国のプロジェクトを受けて東日本の交流拠点を目指すのであれば、こうあるべきだという計画をきちんと総合的に立てていかないといけないと思う。

以上